

24/5/17 令和6年度第1回名古屋市人権施策の推進にかかる有識者懇談会  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

10:00

司会事務局：はじめる

今年度来年度この5人で行う

昨年8月名古屋城検証委員会

今年2月中間報告公表 当日開催経緯、問題点 再発防止 指摘

逐次報告する

座長が決まるまで事務局が司会

傍聴 原則公開 注意事項の順守

座長推薦を

委員：座長は昨年度に引き続き宮前弁護士はどうか

司会事務局：同意なら拍手を

拍手

宮前：昨年度に引き継ぎき、意見活発に

議題 | 資料説明を

松田：令和6年度実施計画について

324 施策

10:11

宮前：ご意見は

小林：若年層 学生に企画提案 大きな目玉かな

いいことだと思うが、やっていく 学生を増やさないと

裾野を広げる 意識を高める

仕掛けみたいなものがないと 提案する学生に限られる

前提として学生の問題意識 高めるようなものを入れこまない

思い描いたものにならないかも

名古屋市内に大学 市立大学もある

先生方もいる

高大連携も進んでいる

名古屋市：想定している 単発でやるものではない

裾野を広げる 来年度、後輩  
どうすればやっていこうとなるのか  
役所の人間が思い込んでもうまにならない  
本当にいい意味での 高校生も視野に入れて

小林：比較的学生 社会で経験を積む前  
職場での問題 実感としてないところも  
経験がない 社会全体の差別 実感としてない  
提案すると、困るかも  
社会の問題 分かってもらうとか 踏み込んだ提案難しいのでは  
学生の経験のなさを補っては

名古屋市：来ていただいてどうぞではなく、  
知識を伝えた上で

近藤：ワークダイバーシティ事業  
日本財団 障害者の就労支援  
一般企業 女性・外国人・障害者 多様  
人権尊重の街づくり 幅広い視野で  
愛知県人権推進プラン 多様性憲章  
市役所自体もダイバーシティ

名古屋市：当然意見があると思うので、人権施策推進会議（親会議）に報告する

宮前：他は

古田：就職するとき履歴書を書く  
本籍地、性別を書かなくなった  
小中学校名を書かなくなった  
どうしてか  
バックグラウンドはどうなっているか  
若年層への啓発イベント

名古屋市：参考にしたい

宮前：議題の1はこの程度  
続いて議題2

10:21

名古屋市：人権についての市民意識調査結果について

5年ごとに行っている

過去の調査経年比較 他都市

- ・あらぬ噂 多い
- ・地域や職場での仲間外れ 多い

10:30

宮前：ご意見は

小林：人権がなされたところ 職場

人権問題意識が変わっていく 職場が対応していない

性的志向・性自認 事業者への研修・責任 どうしていくか

例えば名古屋市立大学 実務家教員養成プログラム

新人研修する 人権意識、リーガルマインドをしては

大学の方が、新しい人権について教育啓発できるのでは

生涯学習 大学卒業したら会社にずっといる

新しい法制度、人権意識 スキルアップだけでなく

人権問題、リーガルマインド

宮前：職場 どんな施策 今年度は

名古屋市：対企業はなかなかない 企業の組織がある

連携はとっている

大学教育が大事 勉強しながらやる

企業自体政策があるところも

宮前：大企業は組織がある

中小はまだまだ

近藤：同じことになるが、ドイツ、ヨーロッパ

多様性憲章に企業が署名する アピールする

企業内で研修

消費者にブランド SDGs

人権を守る公正な企業ですよ

下請けのところも

企業がマインド 市民にも伝わる

名古屋市：人権 企業が重要視 大企業ほど  
小さい企業 どこまでできるのか

近藤：ドイツ 中小零細の方が多い  
役所、大学、NGO も入る

犬飼：アンケート 人権が侵害されたと思ったとき  
愛知県「人権が侵害された」とき  
想像と実際と 興味深い  
ご家族に心配かけたくない  
私は弁護士 弁護士に相談する？ 実際には 10%ほど低い  
相談することが心理的抵抗が大きい  
相談窓口 周知 アクセスしやすい 心理的抵抗感が少ない  
若い人 電話をかけることすらしんどい  
SNS 窓口充実したほうが、アクセスしやすい

宮前：具体的には

名古屋市：ライン相談やっている どんな状況か調べる  
何も相談できなかつた 減らすように  
いつまでも同じようではだめ  
様々な施策を充実させては

宮前：他は 議題 2 はここまで  
その他 名古屋城バリアフリー

10:41

名古屋市：検証委員会中間報告  
昨年 6 月 3 日市民討論会 差別発言がなされ、市が発言制止、  
注意喚起をしなかつた 検証中  
昨年 5 回開催 今年 2 月 14 日中間報告した  
資料 3 報告  
7 つ提言  
発生させないこと、発生しても適切に対応するよう  
局長級・課長級会議の企画運営の見直し  
具体的事例、発生しうる事例と対応  
外部視点を入れては  
差別用語を知らない職員が少なからずいる

差別用語集を作成する 背景を学ぶこと  
人権全般はスポーツ市民局、健康福祉局は障害者差別  
人権に責任者を各局少なくとも1人置く  
差別事業マニュアルの抜本的見直し  
資料 3-3→3-2 に改定  
障害者理解の一層の促進  
対話によるバリアフリー推進仕組み整備  
今後の検証に向けて  
最終報告は夏提出を見込んでいる 有識者にも説明したい

10:49

宮前：ご質問は

私から1件 差別用語を知らない  
用語集を作る 新聞社が用語集を持っている  
そういうものを参考にしては 情報提供

名古屋市：ありがとう

宮前：今後について 障害者差別推進条例改定検討  
ここでも議論する？

名古屋市：報告になると思う

近藤：正確に確認していないが、障害者条約 「合理的配慮を拒否することが差別」  
日本社会 最近できた法律用語  
それが差別になる発想が弱い  
条例の必要性 わかるようなものを  
合理的配慮が必要  
学校教育 特別扱いしないのが平等  
形式的に一緒に扱うことが平等ではなく、違いを踏まえて対応するのが平等  
意識を変えることが必要  
「合理的配慮をしないことが差別だ」

名古屋市：再発防止 2 法令・条例周知  
合理的配慮規定している 対応要領改訂している  
我々は人権全般 進めていきたい

小林：検証委員会どこまで話していいのか

これが一過性はよくない 発展させるには根拠づける規程  
今回は障害者差別中心  
それに限らず、複合性 ほかの差別も重なる  
包括的な条例が求められる  
単に条例つくるだけでなく、実効性のあるものにどうするか  
検証委員会で考える  
条例作るだけで終わっても、人とお金が見つからないとできない  
相談しやすいように 人権侵害を受けている人 「聞くスキル」  
絵にかいたモチになる  
人材育成から必要となってくる  
人と予算が必要 本気度 人権が侵害されないような社会を作る 示して

名古屋市：検証委員会でぜひ  
座長から 人権全般条例 検証委員会で提言されたら  
この委員会で議論 その時はよろしく

宮前：議題3-1はここまで  
議題3-2

10:57  
名古屋市：車いすバスケ

10:59  
宮前：なにか  
次 3-3 ソレイユプラザ

名古屋市：若干増えた  
憲法週間記念行事チラシ

11:01  
宮前：意見や質問は  
すべて終了 ありがとう

名古屋市：懇談会を終了  
ご意見は参考 着実に推進  
次回8月-9月ごろ あらためて日程調整したい  
終わり

11:02